

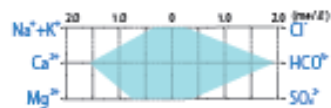
# 秦野市 名水スポット



## MAP E-5 弘法の清水

夏のある日のこと、一人の僧が水を恵んでもらおうとある家を訪れましたが、その家には水がありませんでした。「ちょっと待って下さい」と外へ出た娘はなかなか帰ってきません。水を求めて遠くまで行ったのです。僧は大感謝し、持っていた杖を地面につくと、そこから水が湧き出てきました。後になってこの旅の僧が弘法大師と分かり、この井戸を弘法の清水と呼ぶようになりました。年間を通して水温は16℃前後、水量は日量130ℓ前後で安定しています。(白井戸とも呼ぶ。)

硬度 120(mg/ℓ)



## MAP E-5 河原町湧水

街中に残された数少ない湧水として、地域による保全が進められています。

## MAP D-5 井之明神水

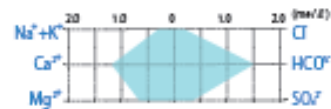
井戸による水が求めにくかった江戸時代の曾屋村の生活水をまかなっていた湧水です。曾屋神社の旧社名「井之明神社」にちなみ命名されました。



## MAP D-5 まいまいの泉

この泉は、その見た目と上古に造られた井戸である『まいまいず井戸』にちなんで命名されました。地下水質の改善が進み、飲用に適する水質に達したため、地下水の監視用に掘られた井戸を利用して、地下20mから地下水を自噴させています。

硬度 94(mg/ℓ)



## MAP D-5 小藤川湧水

街中に残された数少ない湧水として、地域による保全が進められています。

## MAP D-5 兵庫の泉

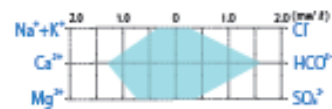
平成26年に自噴井戸の所有者が、地域のために自宅の井戸水を分岐して親水施設を整備しました。隣の豆腐工房でも、この井戸水を使用してこだわりの豆腐を作っています



## MAP D-5 どうめいの泉

宅地開発により不明となった『どうめい湧水』にちなんで命名されました。地下水質の改善が進み、飲用に適する水質に達したため、地下水の監視用に掘られた井戸を利用して、地下30mから地下水を自噴させています。

硬度 100(mg/ℓ)



## MAP D-5 ゆずりの水

出雲大社相模分祠の境内西側に位置する「千年の杜」にある。地下51メートルから湧き上がる水は、せせらぎに流れています。

## MAP D-5 一貫田湧水

水道水源としても利用されていました。小さな崖からしたたり落ちる白菰稲荷神社湧水と合わせて日量500ℓが室川へ流れ出ています。

## MAP C-5 赤松沢湧水

渋沢丘陵の小さな谷あいの湧水で、昭和50年代中頃まで水道水源として利用されていました。

## MAP C-5 峠の湧水

峠取水場のあまり水を使って、地域の人によって作られました。隣には市指定第3号生き物の里があります。

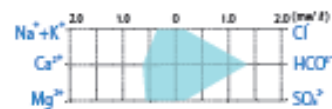
## MAP C-5 谷津湧水

渋沢丘陵の小さな谷あいの湧水で、昭和50年代中頃まで水道水源として利用されていました。この湧水を利用して水田が作られ、谷戸田を形成しています。市指定第2号生き物の里。

## MAP B-5 若竹の泉

渋沢丘陵からの湧水で、渋沢丘陵に沿って流れる室川の源流に位置します。

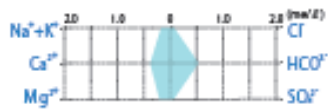
硬度 56(mg/ℓ)



## MAP E-3 春嶽湧水

養毛からヤビツ峠に向かう柏木林道が金目川と交差する場所にあり、水道水源としても利用されています。水質は硬度が低く、柔らかい軟水です。

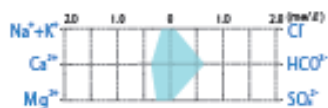
硬度 31(mg/ℓ)



## MAP D-2 護摩屋敷の水

護摩屋敷とは、山伏がヌルデの木などを焚いて修行をするところをさします。修行に訪れた僧たちは、この水で身を清めたと伝えられています。

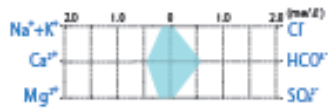
硬度 32(mg/ℓ)



## MAP C-3 葛葉の泉

昭和60年に秦野盆地湧水群が名水百選に選定されたことをきっかけに、地域の人によって整備されました。

硬度 31(mg/ℓ)



## MAP B-3 竜神の泉

山腹に竜の形をした岩があることから、水を司る『竜神』が宿ると伝えられる場所。昔から行者や猟師などが喉を潤し、ひと息ついた泉として知られています。

硬度 38(mg/ℓ)



## 「秦野名水」について

秦野市域に存在する地下水を水源とする水の呼称です。市民共有の財産として先人から受け継いできた誇りと名水百選の地としての水の価値をわかりやすくロゴマークで表現しました。

## おいしい秦野の水 - 丹沢の雫



緑豊かな丹沢の山々が育んだ秦野の地下水をくみ上げ、安全な水道水にした後、塩素を除去してボトリングしたまるやかな硬度89mg/ℓの軟水です。名水百選選抜総選挙「おいしさがすばらしい名水部門」で第1位になりました。市内販売店、秦野市観光協会HPから購入できます。

# 親水公園ガイド

## MAP D-5 くずはの広場

『葛葉川ふるさと峡谷』の中央部に位置し、ナショナルトラスト1号で、敷地内には、くずはの家、くずはのつり橋、ほたるの道等が設けられ、自然と触れあえる憩いの場になっています。6月初旬にはゲンジボタルが見られます。  
※くずはの家(TEL:0463-84-7874)月曜休館



## MAP D-5 曾屋公園

明治23年に横浜、函館に次ぐ全国で3番目の近代水道として給水を開始した曾屋区水道の発祥の地です。昭和58年11月に水道施設としての役割を終え、公園となっています。全国でもきわめて早い時代に建設された水道施設として、貴重な価値が認められ、平成29年10月に国登録文化財に登録されました。水源の一つを利用したせせらぎと池があります。



## MAP D-5 今泉名水桜公園(今泉湧水池)

この池は、古代からの水汲み場所であって、池の底からは、石器時代、奈良・平安時代の土器破片等が大量に出土しています。現在の池は、昭和初期に造られたもので、それ以前は荒地に囲まれた湧水でした。池の底から日量約2,500ℓの地下水が湧き出し、秦野盆地湧水群の中でもトップクラスの湧出量を誇っています。  
秦野市制施行50周年(平成17年1月1日)を記念して、建築家の安藤忠雄氏の基本設計により、平成18年2月1日に今泉名水桜公園として生まれ変わりました。園内には18種類50本の桜が植えられ、ほぼ1年を通して桜が楽しめます。水辺と桜が四季折々の姿を織りなし、1年を通して散策を楽しむことができます。

## MAP D-5 今泉あらい湧水公園(荒井湧水)

盆地の扇端に位置する今泉の窪地から、染み出るように湧き出した地下水を利用し、平成27年10月に湧水公園を整備しました。日量約1,000ℓもの湧水は、荒井用水として、古くから生活用水やかんがい用水に使用されてきました。

## MAP D-5 いまいずみほたる公園

向原湧水を利用し、秦野市今泉台特定土地区画整理事業に伴い、ホタルの生息できる親水公園を整備しました。



## MAP D-5 震生湖公園

大正12年の関東大震災の時に、渋沢丘陵の一部が崩れて市木沢をせき止めたためにできた自然湖です。湖畔には、理学博士の故・寺田寅彦氏が地震調査に訪れた際に詠んだ「山さけて成しける池や 水すまし」という句碑や子供が遊べる広場などがあり、観光ポイントとなっています。

問い合わせ先 秦野市 環境産業部 環境保全課  
TEL: 0463-82-5111 (代表) 0463-82-9618 (直通)  
FAX: 0463-82-7410 MAIL: k-hozen@city.hadano.kanagawa.jp  
協賛: 新エンバイロソリューション (TEL: 03-5689-1220)  
制作: 新キャリアコンサルティング (TEL: 03-5214-6380)

## 水の「硬度」とは?

硬度 (mg/ℓ)

水に微量に含まれるマグネシウムとカルシウムの量を示します。硬度が高いと、味としては「しつこい」、硬度が低いと、「淡泊でコクがない」と表現されます。

マグネシウム・カルシウムの含有量

軟水	0~60 mg/ℓ未満
中程度の軟水	60~120 mg/ℓ未満
硬水	120~180 mg/ℓ未満
非常に硬水	180 mg/ℓ以上

## スティフダイアグラムとは?

地下水の性質の違いを調べるうえでの基準となる地下水に含まれる「主要溶解成分」を視覚的に表現したもので、六角形の面積が大きいほどミネラル等の成分が多く含まれています。このミネラル等が適度に含まれると水はコクのあるまるやかな味になりますが、あまり多くなると苦味や渋味の原因になるとされています。各イオンの濃度は中央の線からの距離で示され、線から遠いほど濃度が高いことを示します。

